

令和7年度 指定管理者施設管理評価シート

施設名称		30 竜泉福祉センター	部課名	高齢福祉課
選定方法		<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定管理者	(福)台東区社会福祉事業団
			指定期間	R6.10.1 ~ R11.3.31

1. 施設及び事業の概要

(1)	[設置目的]	高齢者及びその介護等に携わる者を支援するとともに、高齢者をはじめとする区民の交流及び自主的な活動の促進を図り、もって区民がいきいきと安心して暮らし続けられる地域社会の形成に寄与する。
(2)	[所在地]	東京都台東区竜泉2-10-5
(2)	[規模]	延べ床面積 3575.23㎡の内3264.08㎡ 鉄筋コンクリート造6階建 関係者駐車場、研修室、活動室、小運動室、運動室など
(3)	[委託事業]	介護予防の普及啓発、在宅介護の質の向上、介護サービス事業者への支援や介護人材の育成等に関する講座等の実施 個人や団体への研修室等の活動場所提供に関する業務、施設及び付帯設備の維持及び管理 等
(3)	[自主事業]	フレイル予防健活教室、認知症カフェ、認知症サポーター&見守りサポーター養成講座、介護ボランティア講座、脳トレ関連講座、多世代交流事業、車いすステーション
(4)	[利用者]	台東区内に住所を有する65歳以上の者で構成する団体であって構成員の数が規則で定める数以上のもの、高齢者への支援を目的とした活動を行う団体であって規則で定める数以上のもの、一般の個人及び団体
(4)	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間]	午前9時～午後9時（3階は午後5時まで） 【休館日】 毎月第1月曜日(当該日が祝日の場合は翌平日)、年末年始（12/29～1/3）
(6)	[人員体制]	13名 (内 訳) 所長（1）、副所長（1）、事務係長（1）、主査（1）、係員（常勤3、準職員1）、その他（アルバイト5） (前年増減) 令和6年度が初年度のため増減なし。☒

2. 予算決算

		R5予算	R5決算	R6予算	R6決算
収入	委託料（指定管理料）			56,344,571	56,344,571
	利用料金収入			1,539,000	1,937,170
	その他収入（開設準備補助金）			34,381,429	34,161,946
	計	0	0	92,265,000	92,443,687
支出	人件費			49,044,000	44,242,119
	光熱水費			4,095,000	4,186,019
	維持管理費（委託料・賃借料）			16,513,000	15,207,547
	修繕費			1,028,000	1,405,360
	事業費			0	0
	その他支出（事務消耗品費等）			21,585,000	20,436,172
	計	0	0	92,265,000	85,477,217
収支			0		6,966,470

3. 活動指標

活動指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
開館日数	日	347			170

4. 成果指標

成果指標	単位	(目標値)R8年度	R4年度	R5年度	R6年度
集会室利用率	%	40			26.2
集会室利用コマ数	コマ	3,331			1,068

5. 前回評価及び第三者評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

令和6年度が初年度のため前回評価は無し。

6. 評価の観点

(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり)
(13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の運営にあたって必要な事項については、適宜区との情報共有がされている。また、事業計画書や各種報告書等の作成・提出や自主事業の申請等も適切に行っており、全体として適切な管理運営がなされている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	開館直後で認知度が低いこともあり、当初貸館利用率が伸び悩んだが、徹底した周知等の結果、徐々に改善し収入目標を達成した。介護予防の普及啓発や介護事業者への支援、多世代での交流等の観点から様々な事業を展開し、館の魅力度・知名度向上に繋がった。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	日常的な点検により把握した異常について、リスト化し定例会等で区へ適宜報告している。保守業者とも連携しながら適切に施設を維持管理している。今後は環境に配慮した物品を使用する等、環境へ配慮した施設運営が求められる。
(4) サービス向上の取り組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取り組みが積極的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	実施期間が6か月と短かったことから利用者満足度調査が実施できなかったが、窓口及び利用終了書等で、要望・意見を聴取している。要望・意見について、区と積極的にコミュニケーションを取りながら、迅速かつ適切に対応している。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	開館当初は利用料金収入が伸び悩んだが、徹底した周知やリピート利用の結果、11月以降順調に推移し、当初の収支目標を達成することができた。

(6) 優れた取り組み

《加点項目》

※点数上限：10点

指定管理者の自主的な取り組みによる成果

7

点

様々な自主事業を展開し、館のコンセプトである介護予防や認知症予防の普及啓発や、多世代での交流の促進等につなげることができた。

7. 総合評価

極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)

<h1>良好</h1> <p>(100 / 110点)</p>	【所見】 徹底した周知等の結果、徐々に貸館利用率を改善し収入目標を達成した。館のコンセプトに沿った事業を多数展開し、介護予防の普及啓発等に繋げている。利用者満足度調査は実施できなかったが、利用者の要望を取り入れ適切に対応している。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 DX化について、大幅な業務の効率化につながる取組が期待される。利用者満足度調査を行い、利用者の要望・意見を更に吸い上げ、改善につなげていく必要がある。
----------------------------------	--	---